

リウマチ・膠原病だより

東広島記念病院 リウマチ・膠原病センター

医療法人社団 ヤマナ会

東広島記念病院 広報誌

Vol.18 No.1

発行日 2015年 8月 1日

創刊日 2008年 4月 21日



理念

1. 私共は医道を尊び、規律を守り社会的責務にこたえます。
2. 私共は常に研鑽し信頼される病院を創ります。
3. 私共は安全な医療を提供出来る病院をめざします。

患者憲章

1. 尊厳を保つ医療を受ける権利を有します。
2. 納得出来る説明と情報を受ける権利を有します。
3. 十分な情報提供下で治療方針を選択する権利を有します。
4. 医療機関を自由に選択出来る権利を有します。



仙石庭園 (STONE PARK YAMANA)

この庭園は山名会長が趣味人生の集大成として 16 年の歳月をかけて企画、設計、施工しました。
6,000 坪の回廊形式の庭園は東の清澄、西の仙石庭園と称される日本を代表する銘石群が楽しめる石庭です。

Contents

■特集

骨粗鬆症

東広島記念病院 リウマチ・膠原病センター

副院長 山名 二郎

■入職医師紹介

東広島記念病院 リウマチ・膠原病センター

医 師 湯川 和俊

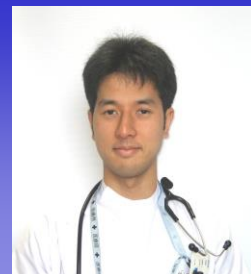
東広島記念病院 リウマチ・膠原病センター

医 師 舟木 将雅

■ヤマナ会グループ施設紹介

広島生活習慣病・がん健診センター大野 Medion ヘルスケア

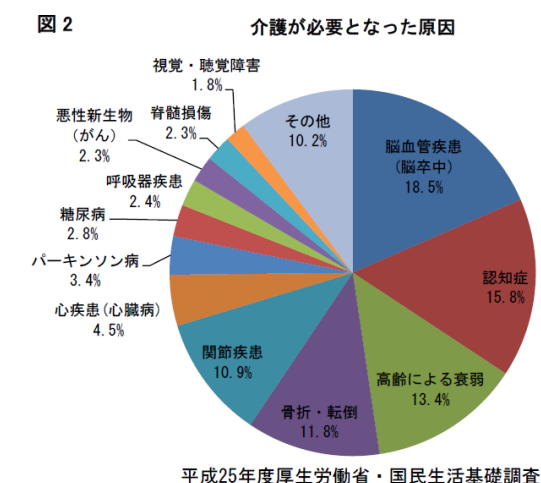
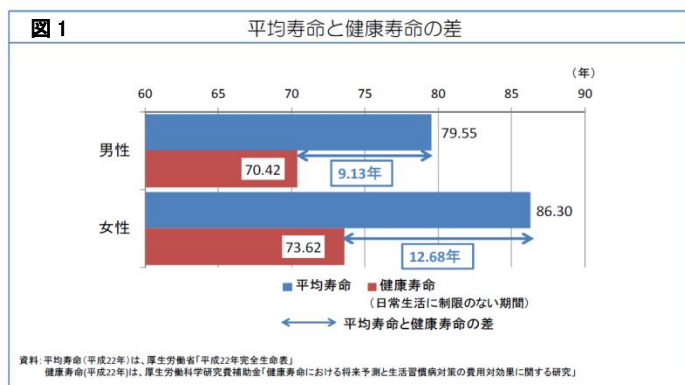
東広島記念病院
リウマチ・膠原病センター
副院長 山名 二郎



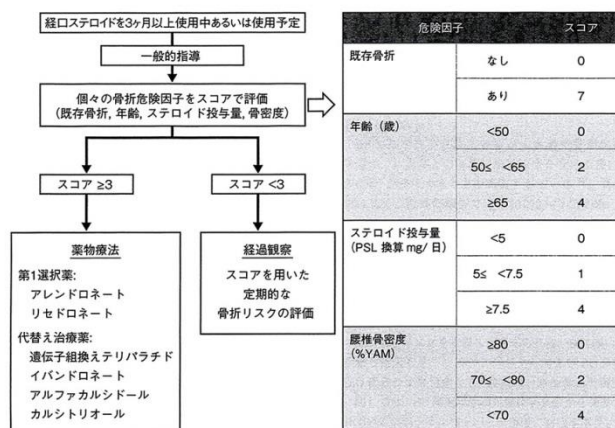
骨粗鬆症は、高齢化著しい本邦において健康寿命を考える上で重要な疾患です。平成 22 年時点で健康寿命(日常生活に支障のない期間)は、男性 70.42 歳、女性 73.62 歳で平均寿命との差は男性 9.13 歳、女性 12.68 歳と算出されています(図 1)。また、平成 25 年度の厚生労働省・国民生活基礎調査によると、介護が必要となった原因疾患として骨折・転倒は第 4 位の疾患となっています(図 2)。関節疾患、高齢による衰弱の一部と合わせて、最近よく言われている運動器症候群(ロコモティブシンドローム)は実に 1/3 以上を占める状態です。骨折を起こさないようにするための骨粗鬆症対策は健康寿命を延ばす上で大変重要な事です。

高齢化に伴い、元々の年齢による骨粗鬆症を合併している患者さんも多く、悪化の予防が必要です。

治療適応の決定には基本的にステロイド骨粗鬆症の治療ガイドラインを基本に診療しています。2014 年には骨粗鬆症のガイドラインが改定され、スコアを利用した治療方針決定を行うものとなっています。以前のガイドラインでは骨密度が若年者と比較して 80%未満であれば年齢、ステロイド投与量関係なく治療対象となっていました。新ガイドラインでは、80%未満でも若くてステロイド投与量が少なければ経過観察となったり、以前のガイドラインでは、骨塩量が高くステロイド投与量が少なければ年齢に関係なく経過観察でしたが、今回は 65 歳以上であれば全員が治療対象となるなど、治療適応に差が生じています。



関節リウマチを中心に膠原病診療を行っている当院では「疾患そのもの」「ステロイドを中心とする治療薬」によるものなどの骨粗鬆症のリスクが高い患者さんが通院されており、その対応が重要です。

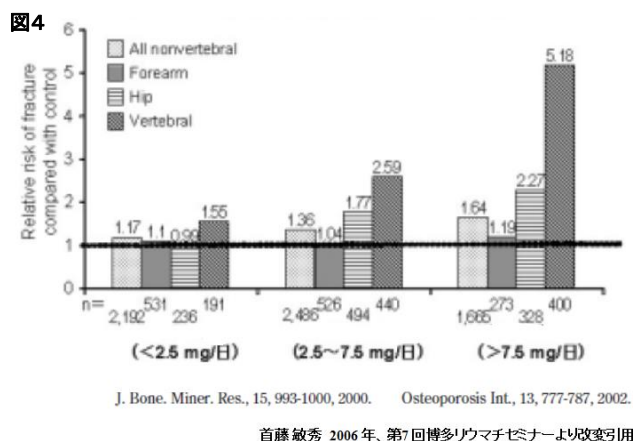
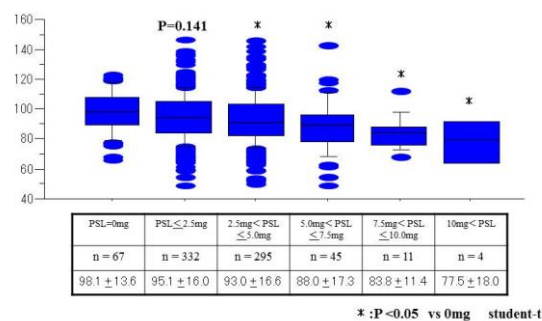


骨密度の評価は腰椎、大腿骨頸部にて行います。手や踵での骨量の評価は、健診レベルでは良いですが、やはり実際に問題が起きる部位での測定が望ましいです。閉経後の女性の方は特に、定期的に骨量のチェックをされる事をお勧めします。そこで重要なのは、同世代との比較ではなく、20歳の標準骨塩量と比較する事です。日本人女性で 65 歳において人並みであればもう骨粗鬆症となってくる状態ですので何らかの対応が必要です。

ステロイド投与量と骨粗鬆症との関係はガイドラインでは 5mg 以下は 0 点となっていますが、2.5 mg 以下でも椎体骨折リスクの増加に関与するとの報告があります(図 4)。

当院で行った検討では、関節リウマチ患者さんの骨密度は、大腿骨頸部においてプレドニゾン 2.5 mg以下であれば同年代の平均と比較して 98%の平均を維持しており、調査当時でステロイドを使用していない患者さん達と有意な差はないとの結果でした(図 5)。ただし、骨粗鬆症の治療薬であるビスホスホネートという薬を約半数の方が内服している状態です。また、2.5 mg以上の使用では有意に低下してくるという結果でしたので積極的な予防が必要でしょう。腰椎での評価は椎体の変形などがあるとデータがばらつきやすく、患者間の比較には適しません。しかし、骨粗鬆症治療薬の効果判定にはより有用性が高い印象であり、個人個人で評価部位を決めて経時的に見ていく事が重要です。

図 5 【ステロイド投与量別大腿骨頸部骨塩量(Zscore)】



近年、骨粗鬆症治療薬の進歩はめざましく十分な骨量の維持、骨折の予防も可能となってきました。リウマチ性疾患では、疾患そのものと、薬剤(ステロイド、メトトレキサート、制酸剤、ワーファリン)による骨粗鬆症の増強が認められ、かつ、高めの骨密度でも骨折する事が示されており、より厳重に管理し、適切な予防を行う必要があります。

当院では、薬剤性骨粗鬆症の予防、骨粗鬆症の早期発見、早期治療による骨折の予防、日常生活の質の維持を目標とし積極的に診療に当たっており、骨の状態をきちんとケアする事で、転倒骨折も減り、介護負担も減り、自分の足、腰で生涯自立した生活を送る事が出来ると考えております。

□ 入職医師紹介

東広島記念病院 リウマチ・膠原病センター 湯川 和俊

平成 27 年 4 月から東広島記念病院 リウマチ・膠原病センターに赴任しました湯川和俊と申します。これまでには広島大学病院、広島赤十字・原爆病院に勤務していました。広島のリウマチ・膠原病診療に少しでもお役に立てよう頑張ります。わかりやすく丁寧な説明を心がけてまいりますので、よろしくお願いいたします。



湯川 和俊

東広島記念病院 リウマチ・膠原病センター 舟木 将雅

平成 27 年 4 月より東広島記念病院 リウマチ・膠原病センター、内科に赴任いたしました舟木将雅と申します。これまでには公立学校共済組合 中国中央病院、福山循環器病院、脳神経センター太田記念病院等にて全科ローテーション研修を行った後、県立広島病院 呼吸器内科・リウマチ科、広島市民病院 リウマチ・膠原病科、呼吸器内科にてリウマチ・膠原病、呼吸器内科を中心に内科全般を診療して参りました。これからはリウマチ・膠原病領域に特化した当施設の専門的診療レベルとこれまでの総合病院での診療経験を合わせてリウマチ・膠原病、呼吸器内科、内科全般にわたり患者様に安心していただける医療を提供できるように頑張りたいと思います。



舟木 将雅

□ ヤマナ会グループ施設紹介

宮島の対岸に最新鋭健診センター誕生

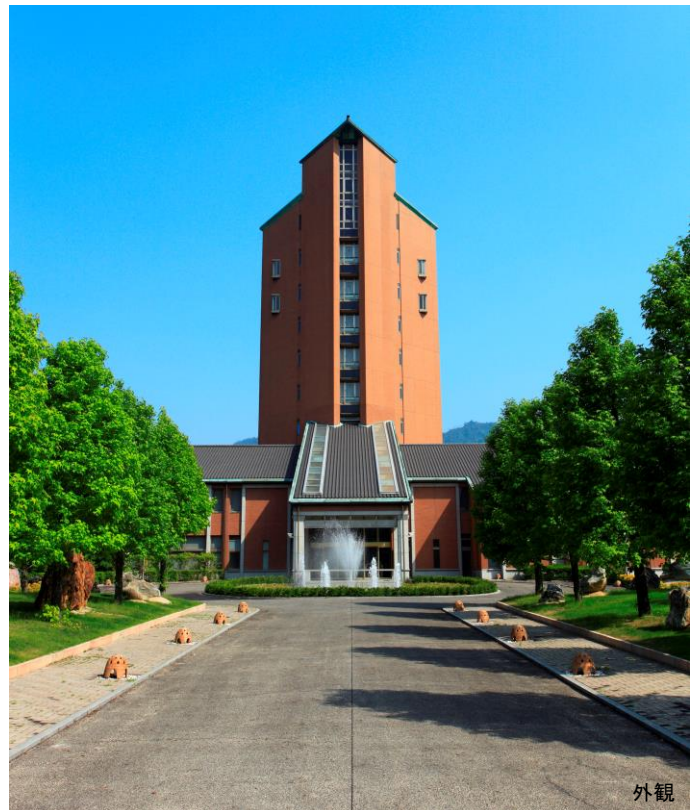
広島生活習慣病・がん健診センター 大野 Medion ヘルスケア

宮島の対岸、大野の旧中国電力大野別館跡に「広島生活習慣病・がん健診センター Medion ヘルスケア」がオープンいたしました。施設内は広々とした落ち着いた空間で、ラグジュアリーな雰囲気です。

今や3人に1人がガンで死亡する時代といわれ、健診で見つかったガンの95%が完治するため、早期発見が重要とされています。また、糖尿病や高血圧などの生活習慣病も増加しており、定期的な健診の需要は高まっています。当センターでは、MRIやCTスキャンなどの最新医療機器で充実した健診を受けることができます。

- 全国協会健保指定[広島県・山口県]
- 各健康保険組合指定
- 各共済組合指定
- 廿日市市特定健診等実施機関[医療機関個別診断を含む]
- 大竹市健診受託医療機関

- | | |
|------------------|-------------|
| ◇人間ドック | ◇検診車による巡回健診 |
| ◇生活習慣病一般健診(協会健保) | ◇脳ドック |
| ◇定期健診 | ◇特殊健診 |
| ◇婦人科健診 | ◇産業医 |



医療法人(社団) ヤマナ会

広島生活習慣病・がん健診センター大野

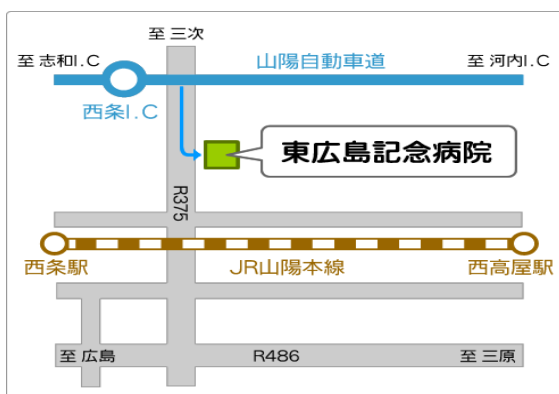
場 所／廿日市市大野早時 3406-5

電 話／0829-56-5505 F A X／0829-56-5515

受付時間／午前 8:30～11:30・午後 14:30～17:00

休 診 日／木・土曜の午後および日曜・祝祭日

周辺地図



ヤマナ会 関連施設

東広島記念病院 リウマチ・膠原病センター

〒739-0002 東広島市西条町吉行 2214

TEL 082-423-6661

リウマチ内科 銀山町クリニック

〒730-0016 広島市中区幟町 14-14 広島教販ビル 2F

TEL 082-228-6661

広島生活習慣病・がん健診センター 東広島 Medion ヘルスケア

〒739-0002 東広島市西条町吉行 2214

TEL 082-423-6662

広島生活習慣病・がん健診センター 幟町 Medion ヘルスケア

〒730-0016 広島市中区幟町 13-4 広島マツダビル 4F

TEL 082-224-6661

広島生活習慣病・がん健診センター 大野 Medion ヘルスケア

〒739-0422 廿日市市大野早時 3406-5

TEL 0829-56-5505

東広島整形外科クリニック

〒739-0024 東広島市西条町御園宇 4281-1 東広島クリニックビル 1F

TEL 082-431-3500

さくら MRI クリニック

〒730-0016 広島市中区幟町 13-4 広島マツダビル B1F

TEL 082-224-6610

発行 広報委員会

〒739-0002 東広島市西条町吉行 2214 医療法人社団 ヤマナ会 東広島記念病院 リウマチ・膠原病センター

TEL 082-423-6661 FAX 082-423-7710 E-mail izika@hnh.or.jp http://www.hnh.or.jp/